

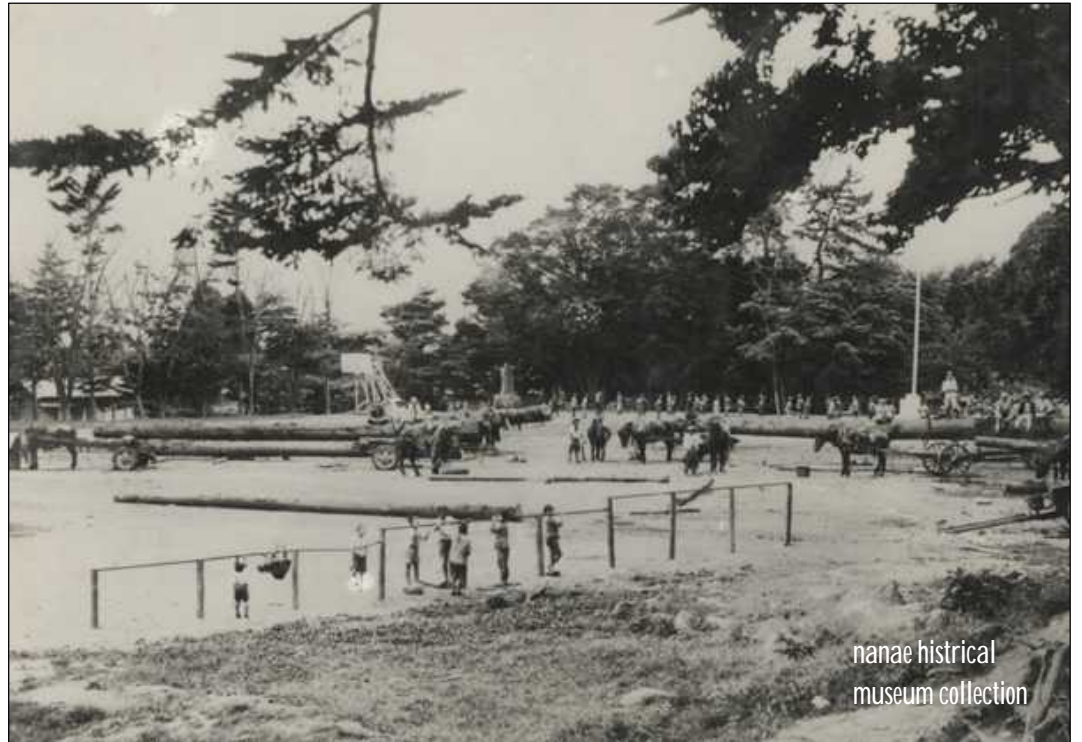
Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより
第3号

ななえ古写真物語 VOL. 3

植林の先駆者 ~ 倉山卯之助の杉 ~

文化年間 ~ 現在
現 三嶋神社境内
写真は昭和18年の様子



この写真は、昭和18年、太平洋戦争中の物資供出のため、杉の大木を伐採して運び出そうとしている様子で、ちょうど七重小学校グラウンドで馬たちが、大八車などを用いて搬出している・・・そんな風景です。

町民の皆様の中には、七重小学校を卒業した方も多いと思いますので、もしかしたら記憶にある出来事として覚えている方もいらっしゃるかもしれません。

さて、この杉の大木ですが、実は江戸時代に植栽されたものだということは、ご存知だったでしょうか？

中世以降、北海道に和人が多く移入するようになると、函館周辺の人口も増加、それにつれ産業も活性化してきました。そのため、薪や木材の必要性が高くなり、樹木の伐採が進んだと考えられます。その結果、江戸時代には、箱館山は「はげ山」となってしまう、危機感を覚えた幕府が植林の奨励をはかるようになりました。このような時代背景の中、七重村に住んでいた倉山卯之助という百姓は、現在の文化センター付近の土地を借り受けて杉や榎松などの苗木を育成し、文化年間(1804~1817)

に、箱館山へ約1万本を移植しました。今でも、函館山で杉の大木を見ることが出来るのは、彼がななえで育てた苗木を植栽したからなのです。また、卯之助が尽力した杉の植林は、北海道の植林事業の先駆けといわれ、その功績は大正7年の開道50年記念式に際して、北海道拓殖功労者の一人として表彰されました。実に、卯之助の死後78年経ってからのことでした。

卯之助がななえに残した苗木は現在、大木となって三嶋神社の境内で見ることができます。前述の物資供出や近年の大型台風の襲来によって、その本数はどんどん減ってしまっていますが、「卯之助の杉」として、函館山に残されたものと同様に、歴史を語る重要な樹木として大事にされています。

今も多くの人たちが目にする「卯之助の杉」には、一人の人物の努力に始まり、戦渦に巻き込まれていった私たちの町の姿までもが刻まれているのです。卯之助の功績を知る人は少なくなりましたが、残された杉の大木が往時の記憶を年輪に重ねています。

歴史館では古写真を集めております。心当たりのある方はご連絡ください。

6日

夜の博物館が開催されました。第3回目は「発祥の地ななえ」と題して、西洋リンゴや男爵薯、チーズなど七飯町が発祥になるものを紹介。その歴史的な背景などについて学芸員から解説がありました。受講者の皆さんも、知らなかった七飯町の一面を知って驚いていたようでした。講義終了後には、こういった素晴らしい素材を今の産業に生かせないものか?といった貴重な意見も交わされました。



スライドを熱心に見ています

1	火
2	水
3	木
4	金
5	土
6	日
7	月
8	火
9	水
10	木
11	金
12	土
13	日
14	月
15	火
16	水
17	木
18	金
19	土
20	日
21	月
22	火
23	水
24	木
25	金
26	土
27	日
28	月
29	火 昭和の日
30	水



こげちゃうまえにかきまぜろ~!

じょうずだよ!



おかあさんこれいいのかな?



最後に、絵本の読み聞かせと紙しばいもみしました。

17日

ふぁみりーでいみゅーじあむで「さくらもちにちょうせん!」と題して、さくらもちづくりをしました。

蒸したどうみょう寺粉を小判状にひろげ、あんこを包んで作るのですが、子供たちの手にはちょっと大きかったようで、少し苦労していたみたいです。でも、おかあさんのサポートもあって上手にできました。自分で作ったさくらもちは、おいしかったかな?

最後に、ひなまつりにちなんだ絵本や紙しばいを楽しみましたが、いろいろ取材の人も来ていたので、みなさんちょっと緊張していたみたいでした。

23日

ジュニア探検クラブで「冬の大沼探検」と題して、わかさぎつりとオオワシ探しに挑戦しました。

雪がふっていたので、ちょっと寒かったけど、わかさぎつりは、つれない人がいないほどの大漁!中には、10匹以上つっている児童も...あなどれません!!

最後に、自分たちのつったわかさぎをフライにしてもらい試食。寒さをたえた苦労もあってか、格別な味だったようです。

午後からは、この時期に大沼へ飛来するオオワシを探そうと、バスを使って走り回ったのですが、悪天候のため、残念ながらオオワシは見つけられませんでした。しかし、黒と白のツートンカラーのちょっとめずらしい「コクマルガラス」を見ることができ、児童はびっくりしていたようです。



つれたぜ!



まじ、さむいんですけど...

おいしい?



残念ながら、オオワシは見つけられなかったけど、コクマルガラスをみれました!

4月の休館日はありません。

アイヌ刺繍講座が開かれました!

2/20・21日に友の会にある「よるず会」さん主催のアイヌ刺繍講座が開かれました。当館は場所を提供しただけですが、一生懸命めった参加者の皆さん、本当におつかれ様でした。(S)



編集後記 ~tawagoto~

2月23日、藤城地区にある地蔵堂で火災が発生、近くを通りかかった函館バス株式会社乗務員の中島敏氏が、バスに常備していた消火器で、懸命の消化活動をし、大事に至らなかったという出来事がありました。この藤城地蔵堂には、今から約160年前に建立された石碑が納められており、中島氏の活躍がなかったらこれらが消失していたことと思います。改めて、この場を借りて、中島氏にお礼申し上げます。(やまだひさし)

Richard

~ピチャリ~

第3号

平成20年3月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町568-6

電話 0138-66-2181

FAX 0138-66-2182